

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏-1	(2)記載者氏名:	遠山 元信	会員番号:	12378	事務局整理記入欄	地理クラブ - 9
分水嶺区分	E334大川峠～菅林署図根点標石(E333方向)		(3)山行日:	2005年	7月	23日	(4)天候 曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

鶴田 實	11962	片野 スミ子	13346				
鶴田 泰子	11963	羽鳥 和江	13496				
半田 明穂	13336	大西 攻	13835				
西村 智摩子	11955	遠山元信	12378				
計			8名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	E334の大川峠より偵察を兼ねてE333方面へ向う												
アプローチ:	7月23日に栗生沢集落より大川峠へ車両二台で入山												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	E334大川峠	栗生沢	139	49	8.7	37	6	4.2	1,259		14:20		
	菅林署図根点標	栗生沢	139	49	14.3	37	6	14.4	1,330	15:40	15:50	B-3	
歩行終了点	E334大川峠	栗生沢	139	49	8.7	37	6	4.2	1,259	16:20		B-3	
											総歩行時間(休憩時間を除く):	1時間50分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

最終到達地点に菅林署図根点標石あり。 大川峠栃木県側車両通行止めで、現実に通行不可。

(9)水および植生に関連した特記事項

(10)その他の特記事項

福島県側から大川峠へ入山したが、栗生沢から大川峠までの間一般車通行止めである。もし入れたとしても、ゲートから大川峠まで落石酷く、大川峠まで到達できるかどうかは運次第である。我々は林道上の落石除去のため、登山隊の10日前に一度落石除去に出向き、ゲートから大川峠まで二時間を要した。これは過去積雪期に歩いた記録と同じ時間である。しかし登山当日、再度落石除去を行いながら峠へと向ったくらいであるからこの大川峠からの登山には林道上の落石状況に大きく左右されるだろう。因みに林道上の草も藪化しつつあり、これも今後の大きな障壁になる可能性が考えられる。栃木県側は通行止め。現在日本一悪路の林道として著名なようである。
--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 標高1330m付近の菅林署図根点標石

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--



標高1330m付近の営林署図根点標石